『高松市病院事業経営健全化計画(平成30年度～令和2年度)』の取組状況 に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【令和2年度の評価】

令和3年11月9日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、高松市（市民）が開設する病院について、医療の質、経営の透明性および運営の効率性の観点から事業全般を評価し、さらには、事業の経営健全化に資すること目的としています。「生きる力を応援します。」という基本理念と四つの基本方針を判断の基準とし、主に「高松市病院事業経営健全化計画」（以下「経営健全化計画」という。）の策定とその進捗状況を、さまざまな視点をもつ外部の委員から意見を求める組織として平成23年6月に設置されました。

今般、令和2年度の経営健全化計画の取組状況の評価を行いましたので、次のとおり取りまとめ報告します。

2 評価結果の総括

平成30年3月に策定した第3次経営健全化計画（平成30年度～令和2年度）において、高松市立病院の基本理念『生きる力を応援します』を定め、その実現に向けて、開院3年目を迎えた「みんなの病院」では、「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は「地域まるごと医療の実践」を基本的な考え方として、公営企業として求められる「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組んでいます。

今回の評価対象となる令和2年度は計画の最終年度にあたります。この期間は一年を通じてコロナウイルス感染症の拡大という事態への対応に追われる期間でありました。一方、従来から取り組んできた医療事業や政策事業についても継続を求められることから、この年度の事業運営は相当に困難を伴うものであったことと思います。高松市立病院はウイルス感染者への手当を積極的に行い、市内の医療関係者を支え、市民をまもってきたという実績が高く評価される場所でありました。限られた人員、限られた施設・設備を感染対応に振り向けたことから、通常の医療は相当に制約されることになるため、既存の計画の実現は相応に困難を伴ったであろうことと理解します。したがって、令和2年度の評価は、計画値の達成状況や実績値の推移に加え、感染症対策の影響を考慮することとしました。

よくする会は、評価項目26項目中、21項目を「順調」又は「概ね順調」と評価しました。みんなの病院においては、新型コロナウイルス感染症への積極的な対応をする一方で、人員や施設・設備の制約を受けた通常医療において、その機能の低下を最小化すべく職員の皆さんの取組みがなされたものと評価します。そのことは、受診患者数の減少や診療の制約による減収幅を小さくしたものと評価しました。地域の危機的状況にあって、「市民に信頼され、市民から選ばれる病院」を希求する市立病院の姿勢は示されたものと思います。しかしながら、病院整備に係る企業債の償還に加え、3年度からは一般会計からの長期借入金の償還が開始することから、引き続き、厳しい経営状況が続くものと見込まれます。令和2年度における市立病院は、公立病院として大いにその存在意義を示すことになりましたが、そのような社会的機能が将来にわたって持続されることを期待します。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、令和2年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、又は目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組を進め、年度末(一定期間経過後)に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組が不十分又は、取組を進めるものの、年度末(一定期間経過後)に、成果が得られる見込みが少ない。
×	かなり遅れている。	消極的又は、目標達成のための取組ができていない。

(2) 病院・診療所の評価結果

① みんなの病院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は4項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は9項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

新型コロナウイルス感染症への対応や、感染対策の下での医療提供体制の確保など、喫緊の課題に取り組みつつも、「がん医療」、「救急医療」などの急性期医療に加え、「地域包括ケア等の後方支援機能の強化」にも努めており、一定の評価ができる。特に周辺医療機関等との地域医療連携の強化については、十分な取組が行われている。

今後も、引き続き良質な医療の提供と、継続的に安定した病院経営に努められたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R2	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	4項目	31%
評価結果『○』とした項目	9項目	69%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R2 総括 評価	R元 総括 評価	H30 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	◎	◎	◎
2 医師確保機能の強化	○	○	○
3 メディカルスタッフ確保機能の強化	○	○	○
4 医療安全の強化	○	○	○
5 医療品質の向上	○	○	◎
6 災害医療機能の強化			○
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	◎	○	○
2 市民との信頼関係の強化	○	○	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	○	○
4 地域社会			
1 地域医療連携の強化	◎	◎	○
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	◎	○	◎
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	○	○
3 一体化			
1 一体化の推進	○	○	○
総合評価	○	○	○

(2) 病院・診療所の評価結果

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は3項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は5項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は5項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で62%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

チームによる訪問診療や指導事業等を通じた地域医療の推進や、管理体制の強化は概ね順調であるが、一部、新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けたと思われる。

今後は、みんなの病院の附属医療施設となる事を見据え、みんなの病院との連携を更に密にした医療を提供するなど、「地域まるごと医療」の更なる実践に努められたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R2	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	3項目	24%
評価結果『○』とした項目	5項目	38%
評価結果『△』とした項目	5項目	38%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R2 総括 評価	R元 総括 評価	H30 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 地域医療の推進	△	○	○
2 医師の確保機能の強化	△	○	○
3 スペシャリストの育成	△	○	○
4 医療安全の強化	◎	○	◎
5 医療品質の向上	△	○	△
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	○	○	○
2 市民との信頼関係の強化	○	△	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	○	○
4 地域社会			
1 共に支え合う体制の整備	△	△	○
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	◎	◎	○
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	△	○
3 一体化			
1 一体化の推進	◎	◎	◎

総合評価	○	○	○
------	---	---	---